



順天堂大学スポーツ健康科学部

公開講座・模擬授業

日時 3月6日(土)

形式 オンライン

《タイムテーブル》※各講座・模擬授業の詳細は裏面をご参照ください。

10:30～ 11:10	①学部紹介・入試情報		
11:30～ 12:00	② うまく泳ぐための流体力学	③ With コロナ・Afterコロナ における子供の運動・ スポーツ	④ スポーツと遺伝※11:20～
12:20～ 13:00	⑤ ストレス社会！？コロナ疲れ？ ストレスの対処について考える	⑥ スポーツ心理学×テクノロジー： フェイント予測スキルを可視化する	⑦ 過去・現在と未来をつなぐ マッスルメモリー～これまでの 運動経験は将来どのように 活かされるのか？～
13:20～ 14:05	⑧ 視覚とスポーツの関係 ～勝つために大切な“目”～	⑨ スポーツとSDGs	⑩ 運動不足解消や筋力アップ を狙いとした順大式オンライン 運動教室

後日、講座・模擬授業の動画を配信いたします(申込者限定)。

お問い合わせ

順天堂大学スポーツ健康科学部 就職課
〒270-1695
千葉県印西市平賀学園台1-1
TEL 0476-98-1001(代)

右記QRコードより
お申込みください。
皆様のご参加お待ちしております！
締切:3月4日(木)



講座・模擬授業内容ご紹介

担当	時間	タイトル	内容
1 入学試験係	10:30- 11:10 (40分)	学部紹介・入試情報	スポーツ健康科学部は、4月からこれまでの3学科から1学科6コース制に変更になります。スポーツ健康科学部の受験を検討している高校生に向けて、学部の特長や、今年度実施した入学者選抜試験の概要などを説明いたします。
2 武田 剛	11:30- 12:00 (30分)	うまく泳ぐための流体力学	明日から試したい「うまく泳ぐための流体力学」を最新の研究成果にもとづいてわかりやすく解説します。
3 鈴木 宏哉	11:30- 12:00 (30分)	Withコロナ・Afterコロナにおける子どもの運動・スポーツ	コロナ禍で子どもの運動・スポーツ活動はどうなったのか？身体を動かすこと、身体を動かさないことで何が起るのか？そして子どもの運動・スポーツ環境は今後どうあるべきかをみんなで考えましょう。
4 福 典之	11:20- 12:00 (40分)	スポーツと遺伝	スポーツと遺伝の関わりについて、具体的には遺伝要因がスポーツパフォーマンスや筋線維組成、けがのリスクに及ぼす影響について実践例を交えながら紹介します。
5 山口 慎史	12:20- 13:00 (40分)	ストレス社会！？コロナ疲れ？ ストレスの対処について考える	コロナ禍で新しい生活様式が求められている中で、ストレスが溜まることは多々あります。その際、自分自身がどんなストレス対処をしているかを知ることが、メンタルヘルスの悪化を防ぐことに繋がります。本講座では、ストレスの理解、ストレス対処についてどのような方略があるのかを理解していきます。
6 川田 裕次郎	12:20- 13:00 (40分)	スポーツ心理学×テクノロジー フェイント予測スキルを 可視化する！	なぜ、私たちは相手のフェイントに騙されるのでしょうか。どうしたら見破れるのでしょうか。ハイパフォーマンスをサポートする「スポーツ心理学」と「テクノロジー」の力で明らかにされた最先端の知見を紹介します！
7 吉原利典	12:20- 13:00 (40分)	過去・現在と未来をつなぐ マッスルメモリー ～これまでの運動経験は将来 どのように活かされるのか？～	「過去・現在の運動経験は、その後どのように活かされるのか？」本講座では、現在、健康や競技力向上のために行っている運動が、将来の健康や運動効果の獲得にどのような影響を与えるのかについて学んでいきます。
8 河村 剛光 中田 学	13:20- 14:05 (45分)	視覚とスポーツの関係 ～勝つために大切な“目”～	スポーツ時の視力や動体視力、視線、判断等、見ること（視覚）とスポーツの関わりは深く、時には体格体力よりも重要になります。当日は、研究や実験例を具体的に紹介しながら、目とスポーツについて考えてみたいと思います。
9 野口 亜弥	13:20- 14:05 (45分)	スポーツとSDGs	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会をきっかけに「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に向けたスポーツの役割が議論されています。国内外のスポーツを通じたSDGsへの取り組みについて事例を交えて紹介します。
10 町田 修一 沢田 秀司	13:20- 14:05 (45分)	運動不足解消や 筋力アップを狙いとした 順大式オンライン運動教室	「新しい生活様式」における運動の重要性が認識されています。順天堂大学では、サルコペニア・ロコモ・フレイル予防を目的に、自体重による運動プログラムを開発してきました。今回、「いつでも、どこでも、だれとでも」実践できる自体重トレーニングについて、オンラインによる運動指導を行います。中・高校生からシニアまで、興味ある方なら何歳でも参加可能です。